

第269回 令和8年7月10日（金）

「コミュニケーションの重要性」

残念ながら犯罪は低年齢化しています。罪の重い強盗殺人が少年によって実行されてしまいました。指示役から脅された面もあると思いますが、あまりにも短絡的です。

知識があればこのような重罪がどれだけ重い刑罰になるのか、少年犯罪と言っても凶悪な犯罪は検察官送致で通常の裁判を受けることになります。若いときの数年、場合によっては数十年を捨ててしまうことがどれだけ重いことか。少年だから軽く済むと言われていたのかもしれませんが。大人とコミュニケーションをとる機会が圧倒的に不足していた様な気がします。

SNSではアルゴリズムで似たような考えを持っている人間が集まり、エコーチェンバーの機能で一つの見方のみが増幅されていきます。ストップをかけるような意見は抽出されず、犯罪者は狙いやすくなります。

ニュースを見れば犯行に手を染める末端の人間はほとんど捕まっていて、切り捨てられてしまうことはすぐにわかります。自分の意に沿わない情報が遠ざけられてしまうことは本当に怖いことだと思います。

国単位で同じことが起きたらどうなるのでしょうか。先の戦争で主に新聞というメディアが犯した過ちは忘れてはいけない教訓です。戦局が悪化の一途をたどっても報道は戦意高揚に偏った記事を書いていました。

2人乗りの高速潜水艇が真珠湾攻撃に参加したことはあまり知られていません。5隻がハワイ真珠湾攻撃に加わって、全員が戦死したと報道されました。日本は彼らを名誉の戦死称えました。軍神（軍の神様）として報道されたのは9名。1隻で2名の乗員なのに、奇数というのはおかしいと少し考えればわかりますよね。

実は乗員の1人、酒巻さんはアメリカ軍の捕虜第1号となって捕まっていたのです。ハワイの真珠湾の記念館には酒巻さんの写真があります。戦後はブラジルトヨタの社長となりましたが当時の日本は捕虜になってはいけないと教えていたのでこの事実は伏せていました。

自分には必要ないと思える情報でも知っておくことが大事であると思います。何かの時に判断の指針になるかもしれません。特に自分の考えと違う意見は貴重です。

新聞に自分が読みたい記事はあまりないかもしれませんが。それでも朝の少しの時間、隅々に目を通すことは大切だと思います。SNSやネットニュースがすべてではありません。